

中京大学経済学部附属経済研究所 2012 年度特別セミナー

1920～1930 年代のヨーロッパ

における都市と住宅

—現代居住の源流を探る

日時：2012 年 12 月 1 日（土）13:00—18:00

場所：中京大学名古屋キャンパス 15 号館（会議棟）1 階大会議室
（地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅下車⑤番出口すぐ）

プログラム

開会の辞 経済研究所長 釜田公良

問題提起 本内直樹（中部大学）

司会 松本裕（大阪産業大学）

白川耕一（同志社大学）



Waldsiedlung Onkel Toms Hütte, Berlin

報告：

イギリス両大戦間の住宅と社会—公営住宅の到来と郊外化の進展—

椿建也（中京大学）

両大戦間期パリの郊外形成とシュレーヌ田園都市の展開

中野隆生（学習院大学）

ブルーノ・タウトのジードルングの社会史—「森のジードルング」を手掛かりとして—

北村昌史（大阪市立大学）

LCC Watling estate, London

コメント：日本史の立場から

小野浩（熊本学園大学）

ディスカッション

閉会

※参加費無料

お申し込みは下記 Fax または E-mail

アドレスに、氏名・住所・電話番号を

11 月 22 日までにご連絡ください。

Cité-Jardin de Suresnes, Paris

お問い合わせ 中京大学経済学部附属経済研究所

Tel/Fax: 052-835-7187 E-mail: cuie@mecl.chukyo-u.ac.jp